

2023年度（通常枠） 内定資金分配団体 PO研修について

一般的な助成金ではあまりない
「研修」を
JANPIAがなぜ行っているのか

資金分配団体に期待する役割(公募要領に記載)



- 1) JANPIA提示の「優先的に解決すべき社会の諸課題」を踏まえ、地域・分野等ごとの実情と課題を俯瞰的かつ具体的に把握・分析し、**案件の発掘・形成**を積極的に行う
- 2) 社会の諸課題の解決に向け、「**包括的な支援プログラム**」を企画・設計し、**公募により実行団体を選定し、資金支援及び非資金的支援を必要に応じ伴走型で提供する**
- 3) 実行団体の事業の特性及び発展段階を踏まえつつ、**革新的手法により資金の助成、貸付けまたは出資を行うこと等を通じ、自立した担い手の育成を図る**
- 4) 実行団体による民間公益活動が適切かつ確実に遂行されるように、**実行団体に対する適切な監督**を行う
- 5) 民間の創意・工夫の発揮を促すように支援を行うことで、**社会の諸課題を解決するための革新的な手法を開発し、実用化**する
- 6) 実行団体に対して、**現地調査を含む継続的な進捗管理及び成果評価を点検・検証し、その結果等の有効活用を促す**
- 7) 民間の資金を**民間公益活動に呼び込むための具体策を策定し、実施**する

資金分配団体に求められる役割

1. 課題分析と案件の発掘・形成
2. プログラム開発・公募実施・伴走支援
3. 資金の助成等を通じ、自立した担い手の育成
4. 監督
5. 社会の諸課題を解決するための革新的な手法を開発
6. 進捗管理及び成果評価を点検・検証
7. 民間の資金の呼び込み

※基本方針より



資金分配団体のPOに求められる力

1. 課題発見力・調査力
2. プログラム開発力・選定力
3. 伴走支援力
4. 事務能力
5. コーディネート力
6. 評価分析力
7. 資源開発力

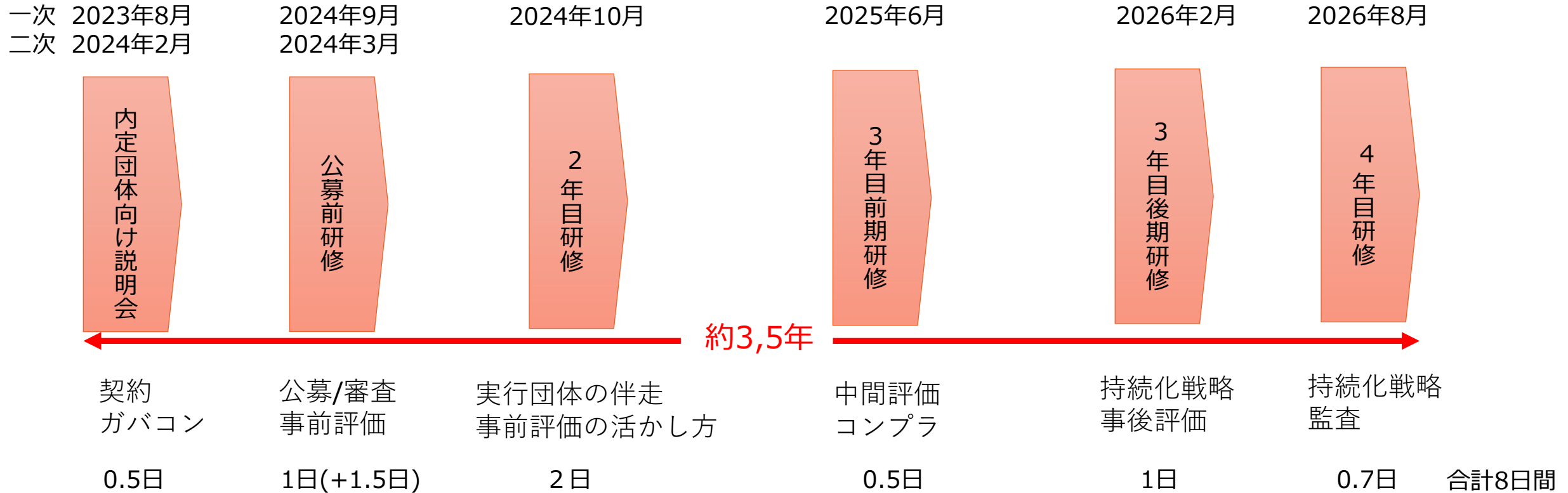
PO研修のカリキュラム



	カテゴリ	重要度	必須	POに求められる7つの能力	
1	休眠預金事業の制度概論	★★★	★	実行と実践力	休眠預金事業への理解
2	PO業務の概要と役割	★★★	★		
3	助成案件の組成・判断	【事前】			広い領域の把握
4	非資金的支援	★★	☆(一部)		
5	コンプライアンス・ガバナンス	★★★	★		ガバナンス・倫理
6	休眠預金事業の評価の考え方	★★★	★		
7	評価(事前・中間・事後)について	★★	★		評価者・第三者視点 (テクニカルスキル)
8	休眠預金事業における経理・事務	★★	★		
9	財務・会計・監査	★★	☆(一部)		財務・監査
10	ビジョンワーク/ リーダーシップ	★★			
11	対人コミュニケーション	★★			伴走者としてのリーダーシップ
12	出口戦略(資金調達、政策提言)	★★			

既に過去採択されたことのある団体は、まったく同じカリキュラムの場合、一部の受講を免除することがあります。

2023年度の皆さんへのPO研修スケジュール(予定)



※上記日程はあくまでも目安であり、1~2か月程度前後することがあります。

コーチング勉強会	実行団体との関係性づくりの向上、変化など
ファンドレイジング勉強会	出口戦略の1つとして、資金調達の準備・実施に向けた戦略を考えるため
企業連携・マッチング会	企業連携・プロボノコーディネーションを学ぶため

- ・ 初回採択団体向け研修
※動画を見て、レポートを提出。〆切は集合研修の実施前日まで
- ・ 集合研修の詳細・ご案内は、別途資料をご覧ください。

上記以外に、PO 向けに学びの共有の機会を提供していきます。

初回採択者向け研修 (E-ラーニング)

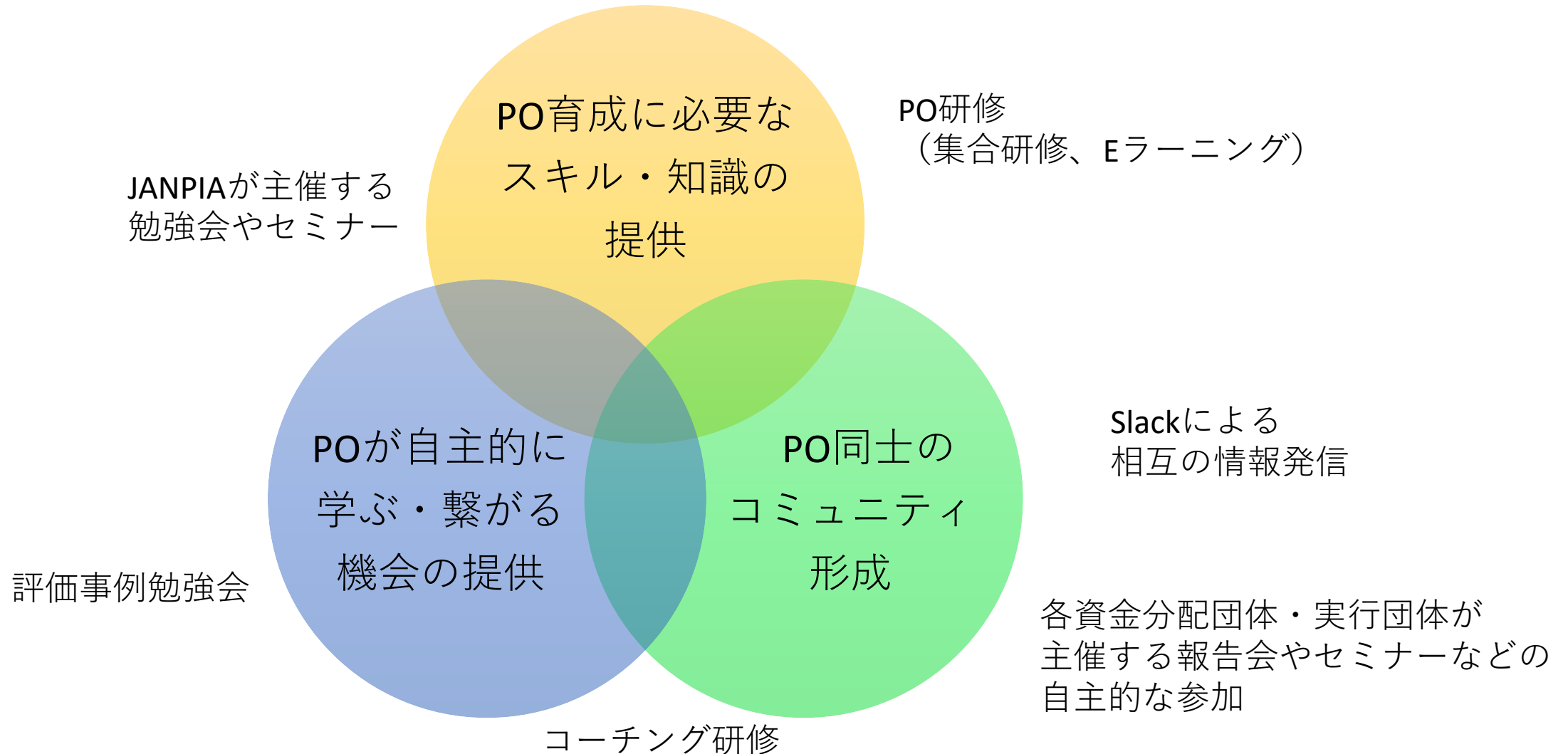
- ・ 休眠預金制度のPOとしての必要な制度に関する基礎知識
- ・ 制度の概要

(約半日分程度の動画)

オンラインの集合研修

- ・ 資金分配団体同士の顔合わせ
- ・ 評価の考え方
- ・ 事前評価に向けて
- ・ 公募/審査について
- ・ POとしての姿勢、心構え

(1.5日分の集合研修)



- POの学びの時間確保にご協力ください
※研修受講時、車を運転しながら受講している人がいます。
危険ですので、絶対にやめてください。
- POの人件費計上には必ず研修受講が必要です。
※人件費の計上を遡って行うのは原則認めていません。
計上可能なのか、ご質問等は担当のJANPA POまでご連絡ください。